

令和5年度第7回三和区地域協議会次第

日時：令和6年1月12日（金）
午後5時00分から
場所：三和コミュニティプラザ
3階 多目的ホール

1 開会

2 会長挨拶

3 協議事項

- (1) 地域協議会活動報告会の開催について 資料No.1

4 その他

- (1) 2024年第15回えちご・くびき野100kmマラソン実行委員会
三和区部会委員の推薦について 資料No.2

- (2) 令和6年能登半島地震の対応等について 資料No.3

5 次回地域協議会

2月29日（木） 午後6時45分から

6 閉会

三和区地域協議会活動報告会及び地域協議会委員公募説明会（案）

1 目的

現在の地域協議会委員が4月に任期満了を迎えるにあたり、地域協議会の活動をより多くの皆さんに理解していただくための活動報告会と、新たな地域協議会委員の公募説明会を開催する。

2 主催

三和区地域協議会、上越市（三和区総合事務所）

3 開催日時

令和6年2月29日（木） 午後6:00～6:45（予定）

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 開催内容

次 第	役 割	時間配分
① 開会	小山班長	
② 地域協議会会長挨拶	高橋会長（以下、進行）	3分
③ 地域協議会の今期の活動状況について 質疑応答	小林副会長	25分
④ 次期地域協議会委員の公募について PR動画の視聴 質疑応答	中村次長	17分
⑤ 閉会	小山班長	
合 計		45分

6 対象者

三和区住民

7 周知方法

- ・1月25日 広報上越2月号で全協議会の開催日時・会場を掲載
- ・1月25日 地域協議会だよりで開催案内（全戸配布）
- ・1月25日 各町内会で開催案内チラシの回覧（班回覧）
- ・2月26日 町内会長協議会（全体会）で開催案内チラシの配付
- ・2月下旬 防災行政無線の放送

(案)

三和区地域協議会活動報告会及び地域協議会委員公募説明会 次 第

日時：令和6年2月29日(木)
午後6時00分から

場所：三和コミュニティプラザ
3階 多目的ホール

1 開会

2 地域協議会長挨拶

3 地域協議会の今期の活動状況について

資料No.1

4 地域協議会委員の公募について

資料No.2

5 閉会

三和区地域協議会活動報告

(第5期：令和2年4月29日～令和6年4月28日)



地域協議会では、さまざまな立場の住民の皆さんが委員として、地域の課題や活性化などについて話し合い、地域の団体などに協力・連携を求めるほか、実現に向けて市に意見を伝えるなどの取り組みを行っています。

1 地域協議会等の開催状況（令和2年5月～令和5年2月）

地域協議会では、通常の会議のほか、自主的審議に係る勉強会や地域の団体との意見交換会などを実施しました。

年度	協議会		勉強会 開催回数	意見交換会 視察研修等 開催回数
	開催回数	主な審議内容等		
令和 2年度	9	【諮問】さんわ保育園の廃止について 【協議】令和2年度地域活動支援事業の審査	2	3
令和 3年度	10	【協議】令和3年度地域活動支援事業の審査 【報告】三和区都市・農村交流促進事業（三和ふれあい農園）の廃止について	8	3
令和 4年度	11	【諮問】上越市三和ネイチャーリングホテル 米本陣の廃止について 【協議】地域活性化の方向性について 【協議】自主的審議事項について	10	4
令和 5年度	8	【諮問】三和区の小学校の統合について 【自主的審議】三和の自然や田園の環境保全 と情報発信について 【自主的審議】三和の宝を巡る通年観光の企 画及びイベント等の実施について	7	1
計	38		27	11



◀ 三和区青少年育成会議との意見交換会
（令和3年度）



地域活動支援事業活動報告会 ▶
（令和4年度）

2 自主的審議事項

自主的審議とは、自主的な判断で区内の課題等について話し合うことです。自主的審議事項として話し合った結果については、その内容に応じて、区内で活動している団体に協力・連携を求めるほか、市長に意見書を提出し、市政での実現を求めていくことができます。

地域協議会では、次の事項について協議を重ね、下記のとおりまとめました。

審議開始 年月日	自主的審議事項	審議終了 年月日	意見書 の提出
令和4年 12月21日	三和の自然や田園の環境保全と情報発信について	令和5年 11月28日	なし
	三和の宝を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施について	令和5年 9月26日	

自主的審議事項のまとめ

三和の自然や田園の環境保全と情報発信について

「錦山」に現存する「伝三国街道」「陣屋跡」「松尾芭蕉の句碑」の歴史的価値、自然的価値、文化的価値を再確認し、環境保全と情報発信に取り組むこととしました。

戦国時代、春日山城主であった上杉謙信公が、関東へ進軍した際に通った「伝三国街道」と、その際の食料供給の基地として使われた「陣屋」の跡が、「錦山」という比較的狭いエリアの中に残っています。令和5年11月はじめ、地域協議会委員有志で、「薬師堂のある登り口」から「伝三国街道の東側の出口」までを整備し、錦山の「伝三国街道」をなんとか貫通させることができました。伝三国街道沿いにある「陣屋」跡も、地形などから想像しやすくなりました。「春日山」で義の心と強さに出会うことを求めてきた観光客にとって、三和区の「錦山」は、謙信公をより深く感じるができる魅力ある場所になる可能性があります。

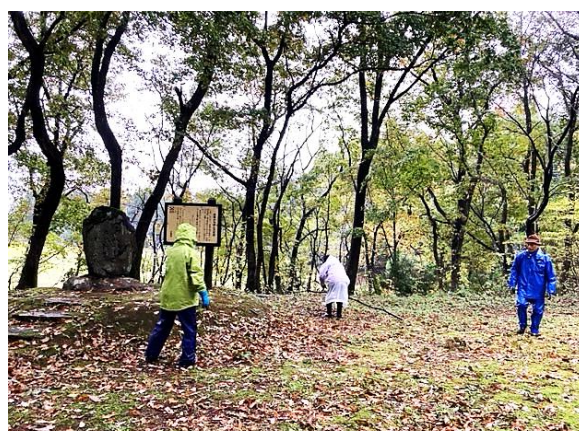
錦山全体は、新緑が美しい落葉樹が多く生えていて、秋になると葉が落ち、栗やどんぐりも豊富です。山道には長年堆積した葉が敷き詰められ、四季を通じて様々な山野草を見ることができます。地域の市民団体である「三和の歴史と文化を語る会」を中心に、春と秋の2回、月見塚広場とその周辺の山道の環境整備が行われており、会では、月見塚広場でのコンサートも開催しています。江戸（寛政）時代、三和区島倉の俳人、植木樹東が建てた松尾芭蕉の句碑がある「月見塚広場」は、三和の文化の象

徴でもあり、今後の活用の仕方次第でさらに魅力ある場所になる可能性があります。

「錦山」をこのように魅力ある場所にするには、やるべきことがまだまだたくさんあります。まずは来年度、NPO 法人三和区振興会による情報発信の取組と連携し、「三和の歴史と文化を語る会」のイベントの PR やボランティアの募集を行い、地域住民が協力して草刈り等の環境整備、イベントのお手伝い等を行っていくことから始めます。新しい仲間力が加わることで、一歩ずつ活動団体が目指す形になっていくことを望みます。「錦山」が三和区民の宝となり、観光客にとっても魅力ある場所になるために、地域協議会委員も応援する個人の立場で、様々な取組に参加し、協力していきます。



▲ 地域協議会委員による錦山の環境整備の様子



▲ 地域協議会委員による錦山視察の様子

三和の宝を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施について

三和区の見どころや産品を PR するガイドマップ等を作成できないか検討を行いました。検討の結果、地域協議会が「上沼道開通を見据えた三和区魅力発信事業」を令和 6 年度「地域独自の予算を活用したい取組」として市に提案し、NPO 法人三和区振興会が実施主体となって取り組むこととしました。この事業は、三和中学校の生徒の協力を得て、①三和区 PR 映像の製作、②三和区観光マップの作成、③新商品や新メニューを開発する 3 つのプロジェクトを実施し、その情報を発信するホームページを作成するというものです。

これらの取組は、市の予算査定や市議会での議決を経て予算化されるため、提案をもって取組の実現が約束されたものではありませんが、三和区の通年観光に向けた第一歩となりました。

三和中学校生徒へのプロジェクト説明会の様子 ▶



3 諮問・答申の状況

諮問とは、地域協議会に対して、市長が政策判断の参考とするため、特定の案件（区内の重要な公の施設の設置・廃止等）について「区内の住民の生活に及ぼす影響」の観点から意見を求めるものです。

地域協議会は、諮問された事項を話し合い、その結果を市長に対して答申という形で返します。また、話し合いの中で必要と判断した場合は、答申に関連する事項として意見を付け加える（附帯意見）ことができます。

諮問 年月日	諮問番号	諮問事項	担当課等	答申 年月日	答申	附帯意見 市の回答
令和3年 1月13日	第74号	さんわ保育園の廃止 について	保育課	令和3年 2月1日	支障 なし	なし
令和3年 7月29日	第75号	上越市過疎地域持続 的発展計画（案）につ いて	自治・地 域振興課	令和3年 8月5日	支障 なし	なし
令和4年 7月25日	第76号	上越市三和ネイチャ ーリングホテル米本 陣の廃止について	施設経営 管理室	令和4年 7月27日	支障 なし	あり
令和4年 8月9日	第77号	新市建設計画の変更 について	企画 政策課	令和4年 9月5日	支障 なし	なし
令和5年 7月5日	第78号	上越市過疎地域持続 的発展計画変更（案） について	地域 政策課	令和5年 7月27日	支障 なし	なし
令和5年 7月13日	第79号	三和区の小学校の統 合について	教育 総務課	令和5年 7月27日	支障 なし	なし

「上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について」の答申書

令和4年7月27日

(宛先) 上越市長

三和区地域協議会
会長 高橋 鉄雄

上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について (答申)

令和4年7月25日付け上施第27247号で諮問のあった、諮問第76号：上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について、下記のとおり意見を付して答申します。

記

当該施設の廃止について、三和区住民の生活に支障はないものと認めます。

(附帯意見)

ホテル米本陣は、都市と農村との交流をはじめ地域内交流による賑わいを高める目的で平成6年に設置され、三和区のランドマーク的施設として区内外から多くの人々が来館し利用してきました。

しかし、近年、人口減少を始め、民間類似施設との競合や人々の価値観の多様化など大きな社会環境の変化により、企業努力もかなわず施設利用者が減少し、売上の減少等で施設運営会社が債務超過に陥るなど、施設の存続が困難となり令和3年度末をもって休館となりました。

このことは、経営感覚をもって対応しなかった市にも責任があり、一方、地域住民による利用促進の取組が十分でなかったことも一要因と考えます。

これらの反省を踏まえ、有料老人ホームとして新たに生まれ変わる施設を、三和区住民が一丸となって応援する思いを込めて、次の3点の取組について十分配慮するよう市から譲渡予定の事業者を求めることを要望します。

- 1 当該施設の職員採用にあたっては、上越市出身者を積極的に雇用すること。
- 2 企業グループの各種事業において、区内の商工業者や、三和区産の米、野菜、日本酒などの産品を積極的に使用すること。
- 3 施設周辺において、年間を通して美しい景観の確保と自然環境の保全に努めるとともに、地域住民がイベント等を企画する際は、当該施設や駐車場の使用などに協力すること。

4 地域活性化の方向性の作成（令和4年11月30日決定）

「地域活性化の方向性」は、地域協議会が三和区の活力向上に向けた議論を進めるため、委員の認識共有をはじめ、市とも認識共有を図るとともに、市が行う事業を企画する上で参考にすることを目的として、市からの依頼を受け作成したものです。三和区地域協議会では、町内会やNPO 法人三和区振興会などの各種団体と意見交換を行いながら、地域で特に重視したいことや大切にしたい取組として、次のとおりまとめました。

三和区における「地域活性化の方向性」

《三和区の地域活性化に向けて》

三和区は、上越市の中央に位置し、広大な田園や里山、ため池など豊かな自然環境に恵まれています。こうした美しい景観や地域資源を大切にしながら、今後予定されている上沼道三和 IC（本郷）の開通を見据え、住民一人一人が様々な活動に参画し、心豊かで安全・安心なまちづくりを進めていきます。

○構成要素

① 自然（谷内池やオニバス等）や田園の環境保全と情報発信
② 三和区の宝（林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等）を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施
③ 安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発
④ 新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進
⑤ 地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援

5 地域協議会だよりの発行

地域協議会の審議の内容や活動の様子を住民の皆さんへお知らせするため、広報紙を発行し、全戸に配付しました。

年度	回数
令和2年度	4回
令和3年度	3回
令和4年度	3回
令和5年度	3回（予定）

6 地域活動支援事業（令和4年度終了）の採択審査

地域活動支援事業は、地域の課題解決や活力向上に向け、住民の自発的・主体的な活動を推進するために、各地域自治区にあらかじめ配分された予算の範囲内で、事業に必要な経費を実施団体に補助する制度です。

地域協議会で事業採択の考え方や審査方法を決定し、提案された事業の審査を行いました。

年度	補助採択		補助実績		備考
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	
令和2年度	12	5,930	12	5,408	
令和3年度	12	6,000	12	5,654	
令和4年度	12	5,843	12	5,670	市で審査

※三和区配分額：各年度6,000千円

地域活動支援事業「三和ふれあい食堂事業」▶
（令和4年度）



三和区地域協議会委員名簿

役 職	氏 名	住 所
会 長	高 橋 鉄 雄	今 保
副 会 長	小 林 則 子	錦
委 員	飯 田 英 利	川 浦
〃	池 田 輝 幸	日 和 町
〃	江 口 晃	越 柳
〃	小 山 田 幸 雄	山 腰 新 田
〃	金 井 茂 康	水 吉
〃	田 辺 敏 行	井 ノ 口
〃	富 村 広 文	日 和 町
〃	星 野 幸 雄	神 明 町
〃	松 井 隆 夫	沖 柳
〃	松 栄 由 里	島 倉
〃	宮 澤 克 己	本 郷
〃	森 由 美	野

地域の声が未来へつながる

地域協議会の委員として 活動してみませんか？

特別な知識・経験や性別は問いません

必要なのは「地域をより良くしたい！」という思いです



地域協議会って何？

市では、自主自立のまちづくりを推進するために地域自治区制度を導入し、全28区の地域自治区ごとに地域協議会を設置しています。

地域協議会では、さまざまな立場の住民の皆さんが委員として、地域の課題や活性化などについて話し合い、地域の団体などと連携・協力しながら取り組むほか、実現に向けて市に意見を伝えるなどの取り組みを行っています。

次期委員を募集します！ 令和6年3月予定

募集時期になりましたら、広報上越、市ホームページ等でお知らせします。（詳しくはお問い合わせください）



お問い合わせ 上越市 総合政策部 地域政策課

〒943-8601 上越市木田1丁目1番3号

電話025-520-5672（内線2305）

E-mail chi-seisaku@city.joetsu.lg.jp

地域協議会について
詳しくはこちらまで



地域協議会の役割など

■ 地域の課題解決

○住民の皆さんの視点から身近な地域の課題を見つけ、解決に向けて取り組みます。

- ・住民の皆さんとの意見交換などを通じて把握した地域の課題について、自らテーマを決めて、より良い解決策を話し合い、地域で活動する団体等へ連携・協力を働きかけ、地域の中で解決に向けて取り組みます。
- ・話し合った結果、地域だけで解決できない取組については、市に対して意見を伝えます。

■ 市からの諮問に対する答申

○市長から意見を求められた案件（例：区内への公の施設の設置や管理の在り方など）について話し合い、市長に意見を返します。

💡 地域協議会の活動事例

- ✓地域の活動団体が会員の減少・高齢化で、活動の継続に不安を抱いているという課題を把握。地域協議会が活動を支援するボランティアの組織化を提案し、設立につながった。
- ✓地域にある自然環境保全地域について審議し、環境整備に係る意見を市に提出。案内看板の設置等につながるとともに、地元小学生や地域住民と連携した地域の活動にも結びついた。

💡 地域協議会委員の声



委員になって良かったことは、自分の住んでいる地域で新しい発見があること。関わってみると、とても楽しいですよ。

日常の同世代の人との何気ない会話も、地域のこととして捉えられるようになりました。



※令和4年度は、各地域協議会で年7～15回の会議が開催されました。各区によって回数が異なります。

地域協議会の委員とは

■ 委員になれる人

議員、常勤の公務員などを除き、その区の中に住所がある25歳以上の人
委員経験者も応募が可能

■ 委員の任期

令和6年4月29日から令和10年4月28日までの4年間

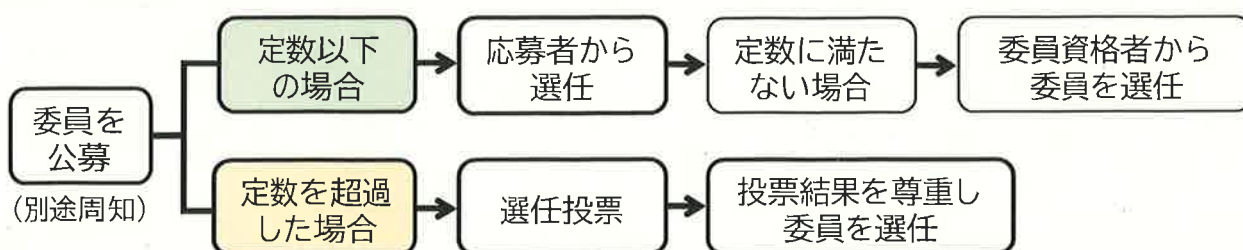
■ 委員の定数

各区の人口に応じて異なります。（12～20人）

■ 委員の報酬等

住民の皆さんの自発的・主体的な参加を期待していますので、無報酬としています。
なお、交通費相当額として、会議への参加1回につき1,200円をお支払いします。

■ 委員が選ばれるまで



(案)

回覧

ぜひ、ご来場ください！

三和区地域協議会 活動報告と委員公募説明会のご案内

- 日時 令和 6 年 2 月 29 日(木) 午後6時から (45分程度)
- 会場 三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール
- 内容 地域協議会の今期の活動状況
地域協議会委員の公募説明と PR 動画の上映
- 主催 三和区地域協議会
上越市(三和区総合事務所)



現在の地域協議会委員が 4 月に任期満了を迎えるにあたり、
今期 4 年間の活動状況の報告と、新たな地域協議会委員の応募
方法等を説明する公募説明会を開催します。

事前申込みは不要で、どなたでも
参加できます。多くの皆様のご来場
をお待ちしております。



■ お問い合わせ
三和区総合事務所
総務・地域振興グループ 地域振興班
電話：532-2323 (内線 215、216)

令和5年12月27日

三和区地域協議会
会長 高橋 鉄雄 様

三和区総合事務所長 岩崎健治
(えちご・くびき野100kmマラソン実行委員会三和区部会事務局)

2024年第15回えちご・くびき野100kmマラソン実行委員会
三和区部会委員の推薦について(お願い)

日頃から、市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、えちご・くびき野100kmマラソン大会実行委員会では、令和6年10月に第15回大会を開催することを決定しました。三和区においても、関係団体等の皆様からご協力いただき、三和区部会を組織し準備を進めたいと考えています。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、下記のとおり委員を推薦くださるようお願い申し上げます。

記

1 推薦をお願いする団体(個人)及び人数

・さんわスポーツクラブ(理事長含) 2人	・三和区振興会 1人
・三和区地域協議会 1人	・三和区町内会長協議会 1人
・三和商工会 1人	・三和区青少年育成会議 1人
・上越市スポーツ推進委員 3人	・三和ジュニア陸上クラブ 1人
・三和区総合事務所 1人	

2 推薦方法

- (1) 報告期日 令和6年1月31日(水)まで
(2) 報告方法 別紙「推薦報告書」を三和区部会事務局へ提出

3 今後の予定

時期	内容
R6年2月下旬	第1回部会(部会長・副部会長の選出、大会概要の説明、部会の体制等の協議)
6月～9月	第2回、第3回部会(予算、ボランティア募集、エイド運営等について協議)
10月上旬	ボランティア全体説明会
10月13日(日)	大会当日(大会ボランティアとして従事)
11月下旬	第4回部会(次回に向けた反省や改善策のとりまとめ、決算について協議)

【三和区部会事務局】

三和区総合事務所 教育・文化グループ

TEL : 025-532-2323 FAX : 025-532-2623

メール sanwa-kyouiku.bunka.g@city.joetsu.lg.jp

令和6年能登半島地震
生活支援の取組状況 (1月10日 17時現在)

区 分		2024/1/10(水)		備 考
		当日実績数	累計数 (うち三和区)	
被害家屋調査	住家(件)	55	365 (5)	・支援開始日:1月3日 ・支援体制(木田) 6班、12名 ・総合事務所も別途支援
	住家以外(件)	5	28 (8)	・支援開始日:1月3日 ・支援体制(木田) 住家と同じ ・総合事務所も別途支援
被災建築物応急危険度判定(件)		5	120 (4)	・支援開始日:1月2日 ・支援体制 1班、2名 赤(危険):0(累計37) 黄(要注意):1(累計36) 緑(調査済):4(累計47)
被災宅地危険度判定(件)		0	2 (0)	・支援開始日:1月2日 ・支援体制 要請に基づき出動できるよ うに3名1組で待機 赤(危険):0(累計1) 黄(要注意):0(累計1)
罹災証明書の発行(件) (木田庁舎及び各総合事務所)		30	156 (13)	・支援開始日:1月4日 ・支援体制(木田) 11名 ・総合事務所も別途支援
仮置場への災害ごみの搬入(台) (上越クリーンセンター内)		26	212	・支援開始日:1月5日 ・支援体制 仮置場対応:2班、6名
ブルーシートの 配布 (総合体育館等)	(件)	19	138	・支援開始日:1月5日 ・支援体制 総合体育館で午前9時から 午後5時まで配布 被害家屋調査時に配布
	(枚)	55	462	